



## 院長談話 「龍馬と北の大地 Cross the Border」

院長 橋本 大定

→ [次ページをご覧ください!](#)

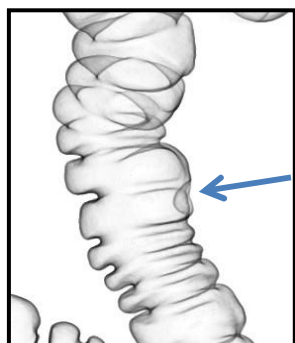
### □□大腸 3D-CT検査のご案内□□

「大腸がんは心配だけど、大腸内視鏡検査はちょっと・・・」という方にご紹介するのが当院で実績を重ねている「大腸3D-CT検査」です。

当院における大腸3D-CT検査（仮想内視鏡）の実績は、2009年12月の導入以来、2014年4月までに601件、2015年3月末で740件に達しました。

検査の流れは肛門に細いチューブを挿入し（奥までは挿入しません）、炭酸ガスで大腸を拡張させてから仰向けとうつ伏せでそれぞれ撮影します。退室まで10分前後かかりますが、1回に息止めして撮影するのは長くてわずか10秒なので**高齢者の方でも無理なく検査できます。**

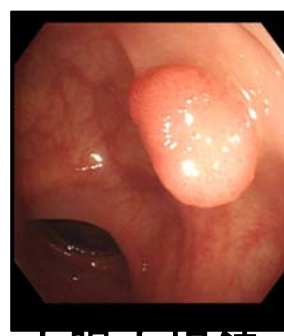
#### <3D-CTと内視鏡の対比>



3D画像



仮想内視鏡



大腸内視鏡

・ 検査を希望される方は、当院 消化器内科ないし消化器外科の外来にご相談下さい。

なお、妊娠中の方および妊娠の可能性のある方は受けられません。

### \* 花の植替えをおこないました! \*

5月23日（土）ボランティアによる正面玄関のプランターの花の植替えがおこなわれました。今回植えられたのは、3色のマリーゴールドで、この季節にぴったりのビタミンカラーの元気な花です。ボランティアのみなさま、ご協力ありがとうございました。



函館市で開催された小切開・鏡視外科学会（安全・安心な内視鏡手術を目指す会）の帰り道、一度は行ってみたいと思っていた「土方歳三記念館」を訪ねました。右手に和泉守兼定を抜刀し、左手に新撰組の隊旗「誠」を握りしめた鬼気迫る土方歳三の像が入口で私を迎えてくれました。

「北海道共和国」の樹立を目指し、函館の五稜郭に立てこもったものの、明治政府軍の包囲の中、講和を選んだ榎本武揚らと袂を分かち、五稜郭を出て、新撰組隊長として約五十名の隊員を引き連れ決戦を行い、“志”を貫き、最後の死地として一本松を選んだのです。

実は、函館には、あまり知られていない「北海道坂本龍馬記念館」があります。近代日本の夜明けと言われる大革命「明治維新」の中心人物である坂本龍馬は、僅か五年の間に、世界にも例がない無血革命をほぼ成し遂げ、三十三歳の若さで逝ったのはご承知の通りです。

小弟は、蝦夷に渡らんとせし頃より、新国を開き候は、積年の思い、  
一世の思い出に候間、何卒一人でなりともやり付申すべくと存居申候 龍馬

これは、龍馬の手紙の一節です。何の関係もないと思われる坂本龍馬と北海道ですが、龍馬は、幕府の解体により職を失うであろう若い武士達のエネルギーを蝦夷地（北海道）の開拓と防衛に向かわせようと壮大な計画も立てていたのです。慶応三年、近江屋事件で龍馬自身は暗殺され、残念ながら北の大地に足を踏み入れることは出来ませんでした。甥の坂本直、坂本直寛（本家五代目）が相次いで入植、以来、坂本家の子孫は、龍馬のDNAを引き継ぎ、一族ともども北海道の礎となっているのです。

大政奉還が成り、新政府職制案の名簿に維新の立役者である龍馬の名が欠けているのをみて、新政府に入ってはどうかと西郷隆盛が勧めると、龍馬は「わしは世界の海援隊をやります」と断ったという有名な逸話があります。一ヶ月後の、慶應三年十一月十五日、龍馬は河原町近江屋の二階で同じ土佐の志士達と酒宴の最中でした。

日本の洗濯は終わったとき、わしはこれから北の大地に行こうと思うちゅう  
おまんも一緒に行かんかえ

自分は海援隊長をやるから、おまん（中岡慎太郎）は陸援隊長をやってくれよと無邪気に語りかける姿が、僕には目に浮かぶのです。

四国は、西日本の最高峰（1982m）を有する石鎚連峰で、南北に分断されています。文久二年三月二十四日、龍馬は土佐藩から

**脱藩**を決行、私の故郷松山藩との境界にある宮野々関所、葦ヶ峠を迂回、険しい山中を抜け、肱川沿いに長浜に出て、長州を目指し、瀬戸内海を渡ってゆきました。

→ 次ページへつづく



## 閑話休題

私は、大戦中、満州国新京市（長春）に生まれました。父は、新京医科大学の内科教授をしていたため、日本帝国の敗戦とともに、一時、永久留用となりました。しかし、教え子の中国人医学生達の助けを得て、昭和二十二年、丸裸となりつつも、幸い家族ともども、故郷愛媛に辿りつきました。

私は高校時代、父が「医療には国境はない、言葉の壁もない」と言いながら、田舎医者として昼も夜もなく働く姿を見、医師を目指すことにしました。

医学において、臨床とは研究であり、研究が臨床と一体化した先に、医療の進歩が築かれるのです。外科医は、先ずは、先達の全てを自身のものとしなすことには、人を助けることはできません。しかし、その先に、何を築く事ができるかが、その人の本当の価値なのではないでしょうか。

私は、「レーザー医学」と「内視鏡外科学」が我が国に導入されたその黎明期に、欧米で構築された、それまでの「範囲」を超える業績を積む幸運に恵まれて、今日も佐野市民病院でそれを継続出来ている事をうれしく思います。

何事も固定観念や既成事実の枠を超えて、より大きなものを構想し、ひとつひとつ解決することが大切だと、日々の臨床の中で痛感している次第です。

### <参考文献>

- 1) D.Hashimoto, The development of Lateral laser radiation probes Gastrointestinal Endoscopy 240-243 Volume 33, NO.3, 1987  
★レーザー側方照射ファイバーの開発で世界特許を取得  
★第29回 日本レーザー医学会会長 “Lasers in 医療の最前線”
- 2) D.Hashimoto, Advanced Techniques in Gasless Laparoscopic Surgery, World Scientific Publishing (Singapore), 1995  
★Gas LESS International 会長  
★小切開・鏡視外科学会 代表理事



## \* \* 市民講座のお知らせ \* \*



### ♥ 9月 「開眼!! 眼科いろいろ大事典」

日時：9月3日（木） 午後4時 ～ 5時

講師：今井 康久 医師（当院眼科統括医）

\*白、緑、黄など眼の病気には色がつく病名が多いのはなぜでしょう？  
眼の病気のいろいろな疑問に今井先生が答えます。

### ♥ 10月 「いつまでも元気に歩くために」

～大腿骨頸部骨折、膝・股関節疾患の予防と治療について～

日時：10月2日（金） 午後4時 ～ 5時

講師：前田 哲朗 医師（当院整形外科医師）

会場：佐野市民病院 A棟5階研修室

申込方法：地域医療連携室に直接またはお電話で  
お申込みください。地域医療連携室 電話（62）-900

理学療法士による  
転倒防止体操も  
ご紹介いたします！



# \* \* 医療相談のご案内 \* \*



当院では、地域医療連携室が窓口となり、病気によって生じる様々な不安や問題を、患者さまやご家族とともに軽減・解決し、安心して療養生活や退院後の生活を送ることができるよう医療相談を受け付けております。

相談に際しては、看護師もしくは、社会福祉士が対応させていただきます。

また、相談費用は無料となっておりますので、お気軽にご相談ください。

場 所 : 2階 地域医療連携室 (耳鼻咽喉科外来 向かい側)

受付時間 : 月曜日 ~ 金曜日 9:00 ~ 17:00

第1・3・5土曜日 9:00 ~ 12:00

\*第2・4土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始はお休みとなります。

連絡先 : 佐野市民病院 地域医療連携室

☎ 0283-62-9024 (直通)

Fax 0283-62-6323



## 外来診療のご案内

<受付時間> 午前8時 ~ 11時 : 午後1時 ~ 4時

<診療科目> 内科 / 循環器内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 消化器外科 / 麻酔科 / 脳神経外科 / 小児科 / 婦人科 / 眼科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 耳鼻咽喉科 / リハビリテーション科 / 整形外科 / 放射線科 / 外科

<休診日> 第2・4土曜日 / 日曜日 / 祝日  
(\* 第1・3・5土曜日は、午前中のみ診療しております)

<診療予定> 事前にお電話でお問合せください。

予告なく診療予定が変更になる場合がございます。事前にお電話等でご確認をお願いいたします。また、診療の予約、キャンセル、変更は下記の時間帯にお電話をお願いいたします。

**\*お電話での受付時間\*** 月曜日 ~ 金曜日 午後2時 ~ 5時30分

## ○糖尿病・腎センター○

<診療日> 月曜日 ~ 土曜日 (午前・午後)

<休診日> 日曜日 (\*祝日は診療しております)

